

# 東海 YFE フォーラム 2021 実施報告

## 1. はじめに

2022年2月4日(金)の13:30-15:40に、東海 YFE フォーラム 2021 が実施されました。今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策と参加者の利便性を考慮して、Zoom ウェビナーによる完全オンラインでの実施となりました。参加者数は、33名であり、本フォーラムは、若手技術者の技術向上と交流の場として毎年実施しています。

## 2. 講演

東海 YFE 懇話会長の岐阜高専：山田先生より開会の挨拶を行って頂いたのちに、表 1 に示す 2020 年度の東海支部表彰者の 5 名の方に講演を行って頂きました。講演時間は、堤記念賞受賞者は 25 分 (20 分+質疑 5 分)、岩田奨励賞受賞者は 20 分 (15 分+質疑 5 分) として実施しました。講演後の質疑は、Zoom 内の「挙手」機能を使い、一般参加者からの質問を受け付けることによって実施しました。また、著作権への対応として、東海支部のガイドラインに則り以下の点に留意して運営を行いました。

- ・配布資料は紙面のみとし、個別に郵送する。
- ・配布資料の二次配布は禁止。
- ・講演中の録画(記録用)は、講演者の同意を得た場合のみ。
- ・一般参加者は、1 アカウント 1 名のみ(アカウント登録時に承諾書を提出)。

表 1 講演者および講演題目

【堤記念賞】	
(株) Anotherworker 金澤 賢一 様	数理最適化に基づく casting 方案自動設計システムの開発
(株) 木村 casting 所 岩見 祐貴 様	球状黒鉛 casting 鉄の黒鉛粒数の増加と casting 溶湯性状の判定方法
豊橋技術科学大学 小林 正和 様	放射光 X 線 CT を用いた casting 合金の評価技術とその応用に関する研究
【岩田奨励賞】	
トヨタ自動車(株) 長倉 啓太 様	SDGs を見据えた溶解工程づくり
三重県工業研究所 近藤 義大 様	シェルカップ熱分析による溶湯評価条件の検討

## 3. おわりに

今年度は当初から Zoom ウェビナーによる完全オンライン方式で開催の準備を行いました。講演中で接続が切れる等のアクシデントもなく、予定していた講演の全てが円滑に行われました。オンライン特有の問題として、講演者と参加者が直接対面できないために熱量を感じることができない点はありませんでしたが、手軽に参加できるというメリットは大きかったと思われれます。興味深いご講演に対して参加者の方からもいろいろな質問が行われ、若手技術者の技術向上と交流の場としての役割は担うことができるフォーラムになったと思います。閉会時には東海支部企画委員会の白川委員長から挨拶を行って頂き、本日の講演が東海支部で取り組む 3 つのシカカのどのあたりの技術に相当するかのマップを示しつつ、若手技術者の今後の連携の大切さをお話し頂きました。

最後に、オンラインでの運営に対して事務局様には手厚いご協力を頂いたことを記し、厚く御礼申し上げます。

(岐阜大学 新川 真人, 三重大学 高木 優斗, 鈴鹿工業高等専門学校 万谷 義和)